KITAGAWA SEIKI REPORT

証券コード：6327

第62期　事業報告書 平成29年7月1日～平成30年6月30日

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚くお礼申しあげます。

当社グループは1957年の創業以来、プレス装置に関する独自の技術力を基に
産業機械分野において発展を遂げてまいりました。
これからも「英知と創造」の経営理念の下、すべてのステークホルダーと
良好な関係を築き、さらなる企業価値の向上を図ってまいります。

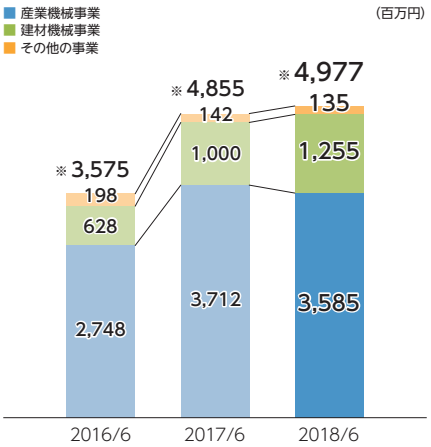
株主の皆様には、今後とも一層のご支援を賜りますよう、お願い申しあげます。
第62期の事業概況と決算につきましてご報告申しあげます。

北川精機株式会社
代表取締役社長　内田　雅敏

第62期（2018/6）財務ハイライト（連結）

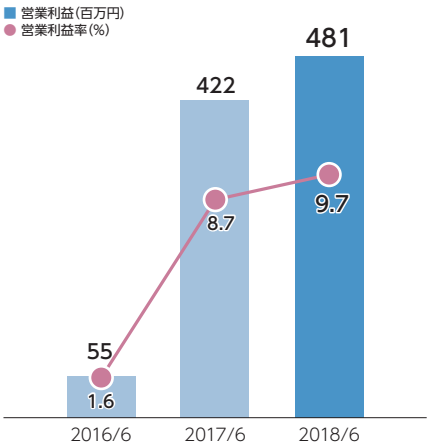
売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
前期比 2.5%増	前期比 13.9%増	前期比 26.4%増	前期比 13.4%減
4,977百万円	481百万円	478百万円	270百万円

売上高（事業別）

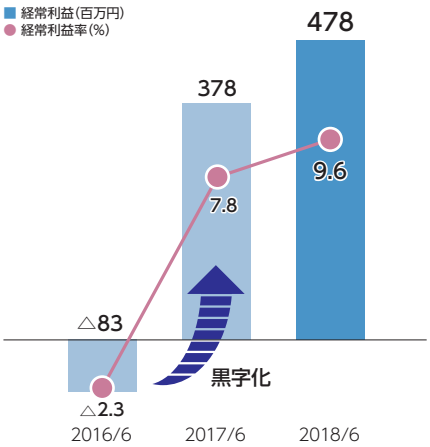


※連結売上高

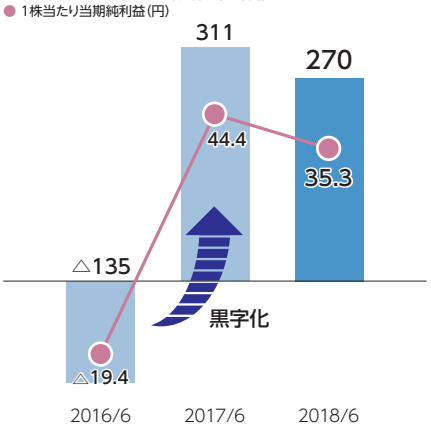
営業利益 / 営業利益率



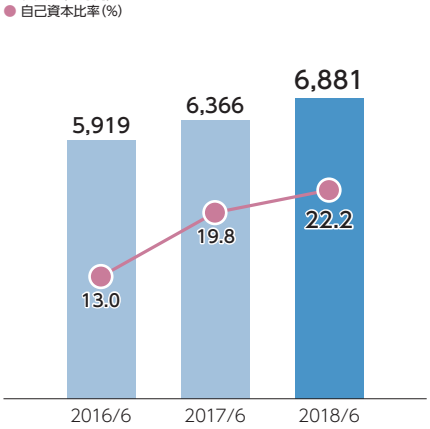
経常利益 / 経常利益率



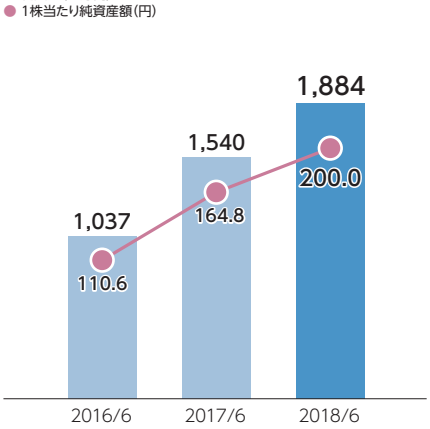
親会社株主に帰属する当期純利益 / 1株当たり当期純利益



総資産 / 自己資本比率



純資産 / 1株当たり純資産額



前中期経営計画の振り返り

当社グループは、2015年8月に公表いたしました前中期経営計画「新領域へのチャレンジ～新たなKITAGAWAの確立～」の下、「真空プレス技術の新分野・新市場への拡大・浸透」「収益力強化と価格競争力向上による強固な経営基盤の確立」「活力溢れる組織の実現」の3つの重点項目を柱として、「新たなKITAGAWA」を確立するための各種施策に全社を挙げて取り組んでまいりました。

前計画期間であった3年間の事業環境は、プリント基板業界を主導してきたスマートフォンの出荷台数が頭打ちとなり、台数増に応じた生産設備需要が減退するなど、必ずしも順風ではありませんでした。しかしその一方で、自動車市場では従来の電装化に加えHV化・EV化の潮流により車載用基板の需要が拡大し、スマートフォン市場においても新技術・新材料をベースとする新たな基板への需要が高まりました。この市場の変化に対応する設備投資需要を着実に取り込むことにより、前中期経営計画の最終年度である2018年6月期の連結経営成績は、売上・利益の全項目において当初目標値を上回る結果となりました。

新領域へのチャレンジ ～新たなKITAGAWAの確立～

連結数値実績

（単位：百万円）

	2016/6		2017/6		2018/6	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績
売上高	4,450	3,575	4,700	4,855	4,950	4,977
営業利益	220	55	280	422	340	481
経常利益	140	△83	200	378	270	478
親会社株主に帰属する当期純利益	150	△135	180	311	220	270

総括

初年度を除き、計画目標値を

達成

新 中期経営計画の基本方針

革新と創造への挑戦 ～独創性で輝き続けるKITAGAWAへ～

当社を取り巻く今後3年間の事業環境は、プリント基板業界における構造変化が一層進み、スマートフォン分野は当面主要な位置を占めるものの、自動車分野における自動運転を始めとする技術革新、IoT時代の到来、次世代通信5Gの本格稼動などにより、新たな成長機会が現れるものと考えております。

このような状況で始まる3年間において、基本的な方針は前計画を引き継ぎながらも、環境の変化に合わせ、より機動的・能動的に新たな市場の動きを捉えて事業化を目指すとともに、将来に向けて安定的・持続的な成長基盤を整備することを目標として、新中期経営計画を策定いたしました。

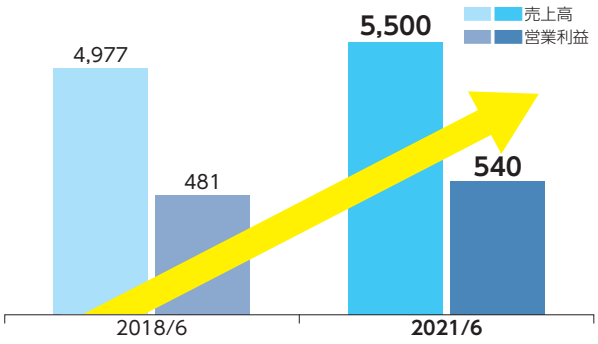
重点項目

1. 独自コア技術の新分野・新市場への積極展開
2. 徹底した工程管理と原価削減による収益性・競争力・製品／サービス品質の向上
3. 活力と自主性に溢れ、継続的な成長を支える強い組織作り

数値目標

（単位：百万円）

	2018/6 実績	2021/6 計画	増減率
売上高	4,977	5,500	+10.5%
営業利益	481	540	+12.3%

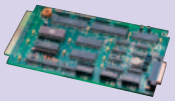


暮らしの中の北川精機

こんな製品も北川精機の装置で作られています

❶電子回路実装基板（プリント基板）　❷航空機構造部材　❸自動車部品
❹住宅資材　❺家庭用品　❻産業資材

1 スマートフォンから家電・自動車・飛行機・人工衛星まで、すべての電子機器・電気製品に使用されているプリント基板。
このプリント基板の積層成型、またその材料である銅張積層板（CCL）の製造を行っている世界中の主要な電子材料メーカーの工場で北川精機の多段真空プレスが高いシェアで活躍しています。


プリント基板（PCB）
イメージ画像

事業別概況

産業機械事業

売上高構成比 72.0%

主要製品の電子基板プレス装置、新素材プレス装置、樹脂成形装置、FAシステム機械を製造販売しております。
海外向けプレス装置や自動車部品の成形プレス装置など多様な売上がありましたが、外注費や一部材料費の上昇の影響を受けました。

売上高 3,585百万円　前期比 3.4%減

営業利益 257百万円　前期比 28.9%減

プリント基板（PCB）成形用プレス

建材機械事業

売上高構成比 25.2%

連結子会社キタガワエンジニアリング株式会社にて主要製品の合板プレス装置、合板機械装置を建材関連企業向けに製造販売しております。
多数の高採算の売上による利益増加に加え、工場稼働率向上や外注先子会社化に伴う利益改善と販管費削減効果がありました。

売上高 1,255百万円　前期比 25.5%増

営業利益 215百万円　前期比 312.2%増

高周波加熱ホットプレス

その他の事業

売上高構成比 2.7%

連結子会社ホクセイ工業株式会社にて主要製品の油圧機器を製造販売しております。
油圧機器はほぼ前年同様に推移いたしました。

売上高 135百万円　前期比 4.8%減

営業利益 12百万円　前期比 58.8%増

油圧ユニット

株式の状況

（平成30年6月30日現在）

発行可能株式総数	20,000,000株
発行済株式の総数	7,649,600株
株主数	3,185名

大株主の状況

（平成30年6月30日現在）

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
北川条範	730	9.55
北川精機取引先持株会	708	9.26
内田雅敏	579	7.57
株式会社広島銀行	347	4.54
北川義行	322	4.22
河原栄	164	2.14
北川精機役員持株会	144	1.88
株式会社マンセイ	142	1.86
大栄鋼業株式会社	111	1.45
株式会社北川鉄工所	98	1.28

(注1)持株比率は自己株式(1,796株)を控除して計算しております。
(注2)北川条範氏(当社前代表取締役会長)は平成29年12月22日に逝去いたしましたが、平成30年6月30日現在、名義変更手続が未了のため、株主名簿上の名義に基づき記載しております。

会社概要

（平成30年6月30日現在）

商号	北川精機株式会社
本社所在地	広島県府中市鵜飼町800番地の8
設立	昭和32年1月14日
資本金	13億3,501万円
従業員数	121名(連結161名)
事業内容	プリント基板プレス装置、新素材プレス装置、ソーラーパネル成形用ラミネータ装置、FA・搬送機械の製造及び販売
営業及び生産拠点	本社工場(4棟)　広島県府中市 東京支店　東京都豊島区 大阪出張所　大阪市西区

主要子会社及び事業内容

（平成30年6月30日現在）

キタガワエンジニアリング株式会社	合板プレス装置、合板機械の製造販売
ホクセイ工業株式会社	油圧機器の製造販売
北川精机貿易(上海)有限公司	当社製品の販売

取締役

（平成30年9月27日現在）

代表取締役社長	内田雅敏	監査等委員	岡野宏
取締役相談役	北川義行	監査等委員	田邉知士※
取締役	内田浩靖	監査等委員	渡辺純夫※

※監査等委員である田邉知士氏及び渡辺純夫氏は独立社外取締役であります。

当社の情報はホームページでもご覧いただけます。

http://www.kitagawaseiki.co.jp

会社案内

IR情報

株主メモ

銘柄コード	6327
事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年9月下旬
基準日	6月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
お問合せ先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社　大阪証券代行部 電話　0120-094-777(通話料無料)
公告方法	電子公告は、当社のホームページ http://www.kitagawaseiki.co.jp/kessan.html に掲載いたします。なお、やむを得ない事由により、電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

【株式に関するお届出・ご照会】
住所変更等のお届出及びご照会は、口座を開設されている証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、左記のお問合せ先までご連絡ください。

UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。